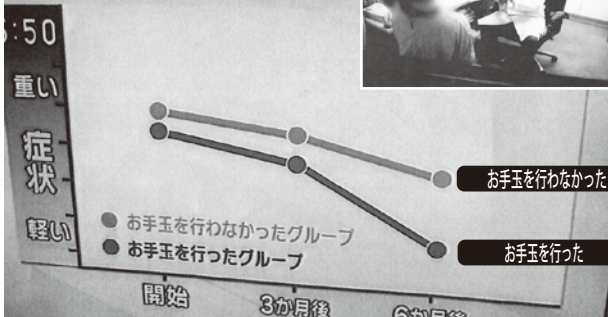


NHK総合テレビの「ゆうどきネットワーク」で日本のお手玉の会の活動が紹介された場面です。



うつ病患者さんを診察する中原医師 ▶



お手玉を使った時の心理状況をグラフ化

ヨーヨーお手玉にした理由を解説



■協力
写真は和歌山のお手玉の
会森勝代さんが、TV画面
を撮影したものです。



ヨーヨーお手玉インストラクターに成長した元患者



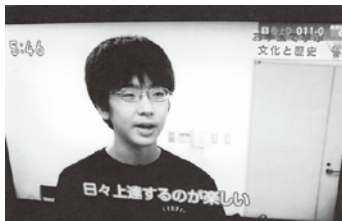
ピアノレッスンに最適なツールに応用



練習を飽きさせないために心を癒すお手玉効果



ピアノのレッスンに欠かせない指と腕の運動



三段が取れなくてやしかった思いでを語る



お手玉は無眼に技を作る



八王子の〇〇さん



世界の珍しいお手玉を紹介



モンゴルの羊の骨のお手玉遊び



日本のお手玉の会八王子支部



八王子支部の児童お手玉指導

テレビでお手玉の効用を紹介
NHK「ゆうどきネットワーク」
NHK総合テレビの「ゆうどきネットワーク」は、8月5日(月)、お手玉の効用について取り上げました。
番組では、お手玉を使った①ピアノ教室(松戸市)、②心療内科での治療(熊本市)、③子どもたちへの遊びの指導(八王子市)などが紹介されました。
ピアノ教室では、250グラムのお手玉で、指先使いやリズム感を養っていました。
心療内科ヘルスアタッククリニックもと院長の中原和彦医学博士(日本のお手玉の会顧問)は、お手玉を使って心の病に役立てている事例を話されました。薬だけの治療より、お手玉を併用すると効果が高くなることを証明していました。
また、心の病に悩んでいた若い女性性が、中原先生のお手玉療法で元気になり、中原先生考案のヨーヨーお手玉を使い、得意のダンスと組み合わせ「ヨーヨーダンス」を生み出し、自分よりもよりのたかさんの人を元気にしている事例もありました。
八王子お手玉の会では、3段、4段の男子中学生の見事な技や、お手玉を自分の手で作る様子も紹介されました。
その中で、羊の骨や豆、木の皮、陶器のお手玉など、日本のお手玉の会が所有する世界のお手玉の披露もありました。
番組の後、北海道から鹿児島県までのたくさんの方から、お手玉についてのお問い合わせが日本のお手玉の会に寄せられました。